

日時 2024年
7月15日

(月・祝)

13:00 ~ 14:30

申込みは Peatix
(下の二次元コード先)

締め切り

7月15日 12:00

参加費 500円

※学生無料



家族のケアを

するのは、

家族の仕事？

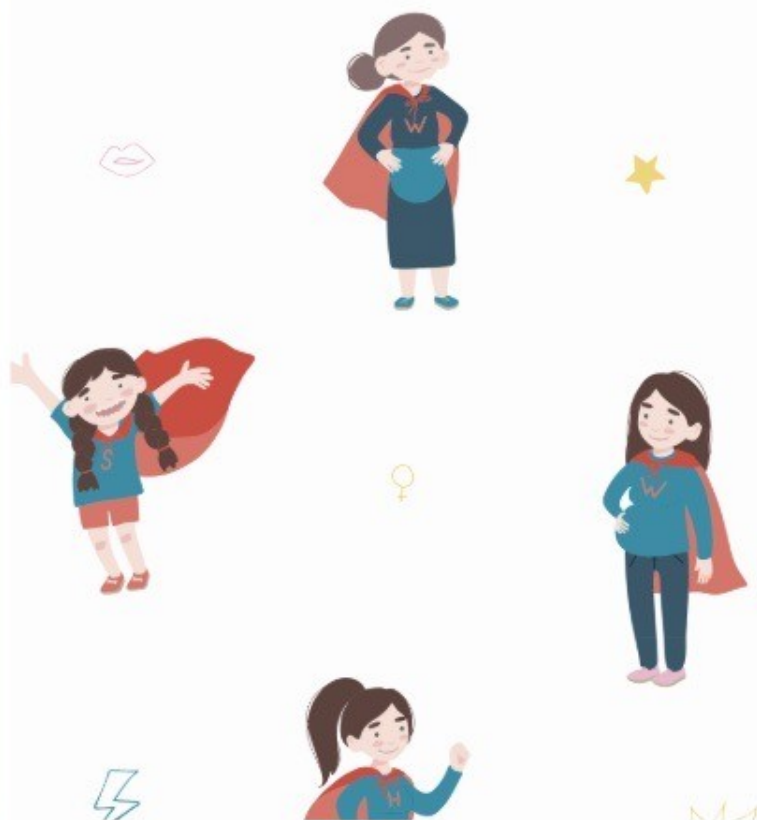
— ケアの倫理から考える —

「親は子供を育てる責任がある」ということに、多くのひとは疑いなく賛成するかもしれませんが。しかし、それはなぜでしょうか？ また、育てることにいろいろな側面があり、教育は学校、けがをしたときは病院、などのようにすべてのケアを家族で担っているわけではなく、専門化されたり社会化されていたりします。また、日々の食事や掃除などは、さまざまな商品化や家事代行などにも頼ることができます。一方、育児の文脈では「手作り」の価値がことさらに強調され、家族（とくに母親）の役割が強調されることもあります。

前回の勉強会では、なぜ、家族のケアを多くの場合女性が担っているかについて、考えました。今回は、ケアが実践される場として家族という領域が想定されてきたことに注目し、家族が家族のケアをするのは当然と考えるのはなぜか、という問いから出発し、家族にしかできないケアはあるのか、家族がケアする場として想定される問題性について考えてみたいと思います。

発題 森恭子さん

同志社大学グローバル・スタディーズ研究科博士後期課程



エンパワーするNGO



主催・お問い合わせ

神戸YWCA ジェンダーグループ

〒651-0093 神戸市中央区二宮町 1-12-10
tel. 078-231-6201 fax. 078-231-6692
e-mail: gendergroup@kobe.ywca.or.jp
www.kobe.ywca.or.jp

YWCA

(ワイ・ダブリュー・シー・エー
(Young Women's Christian Association) は…

キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際 NGO です。